



NEWS RELEASE



第 17-22 号
2017 年 6 月 13 日

『いままでに見たことのない新しい車両』 ～2018 年度末より営業運転を開始します～ 新型特急車両の基本デザインが決定しました！

1. エクステリアはアルミ素材に塗装をし、風景に溶け込むカラーデザインに
2. インテリアはあたたかみのある黄色配色を基調に、リビングのようなやわらかな空間を演出

西武鉄道株式会社（本社：埼玉県所沢市、社長：若林 久）では、2018年度末に運行開始を予定している新型特急車両の開発において、「いままでに見たことのない新しい車両」を実現するべく、世界で活躍する建築家・妹島和世氏監修のもと、当社内で選抜されたプロジェクトチームメンバーを中心として取り組んでおりますが、この度新型特急車両の基本デザインが決定しましたので、お知らせします。

新型特急車両は3つのデザインコンセプトをもとに、国内初となる先頭車前面ガラスや大きな窓など、外観・内観ともに「いままでに見たことのない新しい車両」を目指しました。さらに、基本デザインを監修する妹島氏とともに、車内のテキスタイル（布地）はデザイナーの安東陽子氏、照明デザインは照明家の豊久将三氏がタッグを組み、新型特急車両を彩ります。

西武鉄道の未来を担う新たなフラッグシップトレインとして、引き続き開発に取り組んでまいります。

～デザインコンセプト～

- (1) 都市や自然の中でやわらかく風景に溶け込む特急
- (2) みんながくつろげるリビングのような特急
- (3) 新しい価値を創造し、ただの移動手段ではなく、目的地となる特急

詳細は、別紙のとおりです。



秩父の大自然を背景に駆け抜ける新型特急（イメージ）

【別紙】

1. エクステリアデザイン

・ 前面ガラス

国内初となる大きな三次元の曲面ガラスを採用し、やわらかな印象の先頭デザインとしました。先頭のやわらかな曲面が全体の編成へと自然に連続するように緩いカーブのある車体断面としました。

・ 車体カラー

都市や自然の中でやわらかく風景に溶け込むデザインを実現するため、アルミ素材の車体に塗装仕様としています。その色合いにもひと工夫し「あたらしい風景」を作り出せる特色のあるカラーデザインとしました。

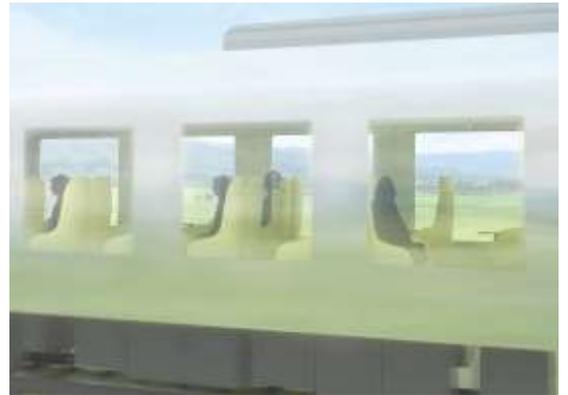
・ 客室窓

お客さま一人ひとりがくつろげるリビングのような空間とするため、等間隔で連続していく窓配置としました。その大きさにもこだわり、心地よい居住空間を目指しました。

車両外観 1 (イメージ)



車両外観 2 (イメージ)



2. インテリアデザイン

・ 客室

大きな窓のある明るい白い壁のシンプルな室内に、あたたかな黄色配色を基調とした座席シートが並びます。シート・床面の絨毯・カーテンのテキスタイルは、統一感のあるデザインを心掛けました。また、シートは今までの特急にはない身体をやさしくつつみ込むソファのようなデザインとし、ご利用頂くお客さまそれぞれが自分の時間を持てる新しいパブリックスペースを目指しました。

・ 照明

シンプルなボールト（曲面）天井からの間接照明により、やわらかな光あふれる照明デザインとしました。また、荷棚にも補助灯を付加し、読書などにも適した照度を確保します。

・ エントランス

お客さまを最初にお迎えする各エントランスにも、あたたかみのある黄色配色を基調とし、ご乗車の際に落ち着きと安心感を与えるデザインとしました。また、一部の壁には曲面デザインを採用し、壁面に寄り掛かれる余裕のある空間としました。

・サニタリ

各トイレには清潔で安心感のある黄色配色を基調とし、空間スペースも最大限確保できるよう配慮しました。また、トイレを配置する号車は、お客さまの動線を考慮し1号車・5号車としました。なお、1号車には多目的トイレと男性用トイレと洗面所を配置。5号車には当社初となる女性専用トイレを配置し、同車両にはパウダールームと共用トイレと男性用トイレも配置します。

・車内設備

すべての車両で「SEIBU FREE Wi-Fi」をご利用いただけ、また、各座席には「電源コンセント」を搭載し、ご旅行や行楽時、ビジネスなどにも活用いただけます。なお、5号車には「AED」を装備します。

さらに車内LCD画面表示器や車内設備案内板には、英文表示に対応し、インバウンドのお客さまにも快適にご利用いただけます。

客室1 (イメージ)



客室2 (イメージ)



エントランス (イメージ)



3. その他

- (1) 導入両数 56両 (8両×7編成)
- (2) 運行開始 2018年度末頃を予定
※具体的な運行開始日・運行経路についてはあらためてお知らせします。

4. デザイナー

基本デザイン監修は建築家妹島和世氏に、更に座席シートや床面などのテキスタイルはデザイナーの安東陽子氏と、天井照明をはじめとする車内の照明デザインは照明家の豊久将三氏とタッグを組み、いままでにないデザインとなりました。



Photo: Aiko Suzuki

○建築家：妹島 和世氏（基本デザイン監修）

日本女子大学大学院を修了。1987年妹島和世建築設計事務所設立。1995年西沢立衛とともにSANAAを設立。2010年第12回ベネチアビエンナーレ国際建築展の総合ディレクターを務める。主な受賞として日本建築学会賞*、ベネチアビエンナーレ国際建築展金獅子賞*(イタリア)、プリツカー賞*(アメリカ)、芸術文化勲章オフィシエ(フランス)、紫綬褒章など。現在、横浜国立大学大学院Y-GSA教授、ミラノ工科大学教授、ウィーン国立応用芸術大学教授、日本女子大学客員教授。（*はSANAAとして）



Photo: Atsushi Nakamichi

○テキスタイルデザイナー・コーディネーター：安東 陽子氏

株式会社「布」でのクリエイティブスタッフを経て、2011年個人事務所「安東陽子デザイン」設立。多くの建築家の設計する公共施設や個人住宅などにテキスタイルを提供。

近年は「すみだ北斎美術館」（妹島和世氏設計）、「ぎふメディアコスモス」、「台中国家歌劇院」（いずれも伊東豊雄氏設計）、「太田市美術館・図書館」（平田晃久氏設計）などの建築にテキスタイルを提供した。

○照明家：豊久 将三氏

最新のテクノロジーを使った光の設計を主に行う。ニューヨーク近代美術館

「CONTEMPORARY JAPANESE TEXTILES」展における光ファイバーを使用した照明で世界的な評価を得る。

東京国立博物館など国内外の美術館の展示照明やアートコレクターの自邸の光の設計を主に、国立国会図書館 関西館などの公共施設照明、Dior表参道、GUCCI銀座といったファサード照明や店舗照明など幅広い光の表現活動を行っている。



以上

◇お客さまのお問合せ先

西武鉄道お客さまセンター TEL. (04) 2996-2888

音声ガイダンスのご案内により、メニューをお選びください。

[営業時間：平日 9時～19時 土休日 9時～17時]